

## 別紙2 空港の利用促進に関する事業及び地域との連携による事業の令和4年度における実施内容及び成果等

### 1 主な事業の実施状況

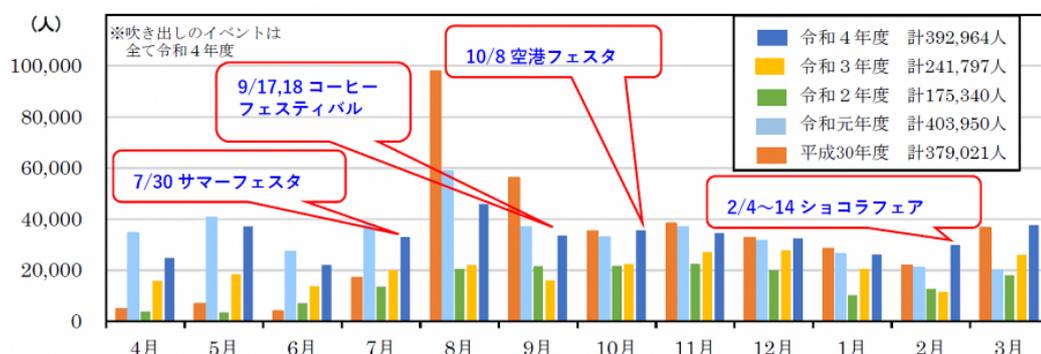
#### (1) 鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ二次交通改善対策事業（アフターコロナを見据えて）

- ・ 二次交通の実態調査・アンケート調査、個人旅行者の行動調査等を実施し、幅広く多様な利用者側の総合的な視点から二次交通の実質的な充実（選択肢の新設・拡充）と統合化による充実（利便性の向上）に向けた施策を抽出し、合意形成を図った「鳥取砂丘コナン空港航空機利用・地域交通戦略」を策定（令和5年3月）した。

#### (2) ツインポート加速化促進事業

- ・ 新型コロナウイルスの感染対策を徹底したうえで、可能なかたちで地元住民や経済団体等関係者からの様々な提案を反映し、鳥取空港ビル(株)・鳥取市・県が連携してツインポートとしての賑わいを創出した。
- ・ 令和4年11月20日、「ツインポートフェスタ2022」の一環として、かにっこ空港ロード（県道鳥取空港賀露線）をルートとした「かにっこ空港ロードウォークラリー」、「ツインポートサイクリングツアー」を開催し、98名が参加した。ウォークラリーでは、わったいな～鳥取砂丘コナン空港間を歩き、コース途中のチェックポイントでカニ歩きゾーンの設置、カニ汁、空港スイーツを提供した。また、サイクリングツアーではツインポートエリアに加え、滑走路周辺の場周用道路も周遊し、航空機の離陸を見学した。加えて、同日開催していた、わったいなの「収穫感謝祭」および空港の来場者を対象としたガラポン抽選会やシャトルバスの運行等で両イベントは大盛況だった。
- ・ 両港の情報発信やPR事業を通じ、ツインポートとして一層の賑わいを創出するため、両港のデジタルサイネージで互いに広報した。
- ・ 図に示すとおり鳥取砂丘コナン空港における一般来場者数（搭乗者数は除く）は、これまで新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいたが、令和4年度は感染対策を徹底しながら開催した各種イベントやコナン装飾の拡充もあり、一般来場者数は対前年度比162.5%と増加し、コロナ禍前（平成30年、令和元年）と同水準まで回復した。また、鳥取港周辺の利用者数もコロナ禍前に比べ、やや低迷しているが、当該事業の取組成果もあり、令和3年度の落ち込みに比べ、回復傾向にある。

【令和4年度 鳥取砂丘コナン空港一般来場者数（搭乗者数除く）】

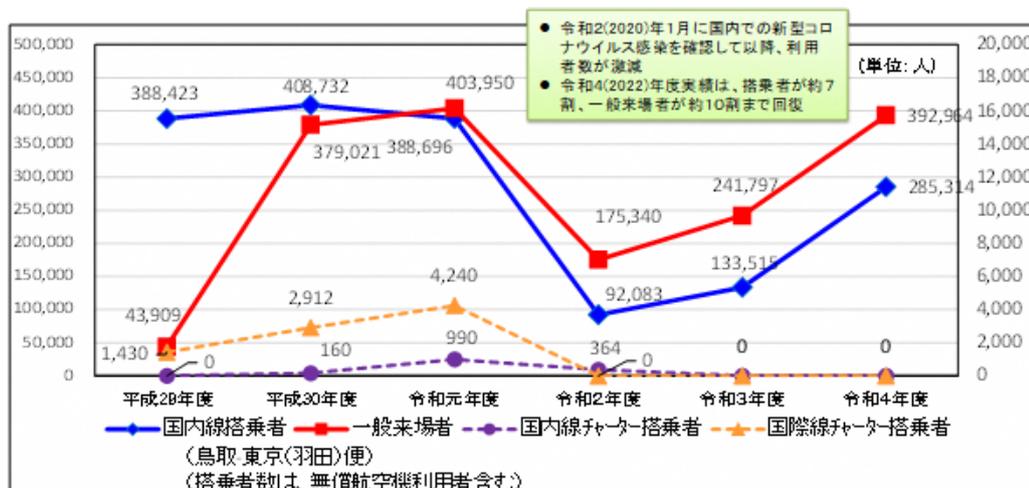


## 2 事業の成果（改善状況）・課題等

### (1) 成果（改善状況）

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で両港の利用者数は低迷していたが、当該事業の取組成果もあって前述1のとおり回復傾向にある。
- ・ 鳥取砂丘コナン空港では、サマーフェスタ（7/30）、コーヒーフェスティバル（9/17, 18）、空港フェスタ（10/8）、ショコラフェア（2/4～14）、コナン装飾の拡充など多彩なイベントを民間主導で開催した。

【鳥取砂丘コナン空港の利用者数の推移（国内線・国際線搭乗者数、一般来場者数）】



【鳥取港マリニピア賀露来場者数の推移】

(単位：人)

	かにっこ館	かろいち	わったいな	3施設合計	対前年度比
令和4年度	178,417	596,141	797,419	1,571,977	120.2%
令和3年度	144,120	484,485	678,799	1,307,404	90.9%
令和2年度	123,764	576,876	736,977	1,437,617	70.2%
令和元年度	353,099	805,276	890,190	2,048,565	104.3%
平成30年度	256,381	781,061	927,312	1,964,754	—

**(2) 課題等**

- ・ 空港二次交通の利便性向上をはじめ、よりシームレスな移動サービスを目指す鳥取方式の観光型MaaSの実現に向けて、「鳥取砂丘コナン空港航空機利用・地域交通戦略（令和5年3月策定）」に沿って、令和5年度以降、各作業部会を設置し、作業部会において取組の具体化を進める。当面の目標としては、令和7（2025）年4月から開催の大阪・関西万博に向けた各種取組について、民間企業が中心となり、スピード感を持って実装化に取り組んでいく。
- ・ アフターコロナを見据えて、今後見込まれる航空・観光需要の回復に速やかに対応できるよう関係機関が連携強化し、両港エリア一帯の賑わいづくりをより一層推進していく。